

7/17 市民の安全・安心のために



◀ 集団救急事故訓練の様子

山間部孤立化に伴う訓練の様子▼



防災体制の一層の充実強化をめざし、集団救急事故訓練および山間部孤立化に伴う訓練が行われました。

訓練には、大町自主防災連絡協議会、医師会、県消防防災航空隊、消防関係者など約100人が参加。本番さながらの緊張感の中、災害時にはいち早く連携の取れた対応を迫られる機関同士が、きびきびとした行動で訓練を行いました。

7/8 鈴木史朗氏 文化講演会で来西

フリーアナウンサーとして活躍中の鈴木史朗氏を迎え、「人生を楽しく生きるコツ」と題した文化講演会が開催されました。会場の丹原文化会館には約700人の受講者が参加し、バラエティー番組での収録の逸話を交えた内容などで、会場からは笑い声が耐えず、最後は得意の歌も披露してくださいました。



障害者の自立と地域農業の活性化を目指して

6月22日に市内の福祉施設「星の里」の利用者12人が西条市青年農業者協議会会長を務める築山隆明さんのイチゴハウスを訪れました。

協議会では、昨年度から星の里との交流を深めており、2年目の今年は、サツマイモの植え付け作業、イチゴ摘み体験やイチゴの株を取り除く作業も一緒に行いました。

イチゴ狩りでは、利用者が美味しくイチゴをほおぼる表情に築山さんは「楽しそうで良かった。今後は農業分野での障害者の就労につながり、障害者の力も借りながら地域農業が活性化していけば…」と話していました。



青年海外協力隊へ参加・出発報告

6月15日、西条小学校教諭近藤民好さんが、青年海外協力隊の一員として、エクアドル共和国への出発の前に西条市を表敬訪問しました。

近藤さんは6月から2年間、現地の小学校や教育委員会で算数教育の指導をする予定です。



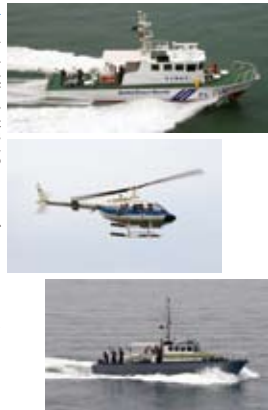
渡部副市長から西条市の資料を受け取る近藤さん(右)

Camera まちのわだい Spot



7/16 海から西条市を見てみよう 第33回西条市研修の船

▶ 今治海上保安部によるデモンストラクション



▶ 四国運輸局出前講座



▶ 船橋見学 (円内：親切に教えてくれる船員さん)



▶ 救命筏を張る実演



「研修の船」は、子どもたちに海への関心を持ってもらうため、西条市海事振興会と西条市教育委員会が毎年「海の日」に実施しているもので、今年で33回目となります。当日は、小中学生と保護者952人が参加しました。

参加者は、四国開発フェリー㈱の「おれんじ7」に乗り込み船上から自分たちの住むふるさとを眺めたり、船内では四国運輸局の出前講座で、船が浮く仕組みを学んだり、救命胴衣の着用実習をしたり、船橋の見学などをしました。

また、当日は今治海上保安部から任命された「一日海上保安官」2名も乗り込み、海難防止の呼びかけをしました。

7/8 全国高等学校クイズ選手権 四国・岡山大会 開催



四国4県と岡山県の若さあふれる高校生約500人が西条運動公園に集結し、8月の全国大会をめざしてクイズに挑戦しました。

当日は、クイズの一问一問に真剣なまなざしで取り組み、答えが発表されるたびに一喜一憂。大きな歓声やため息が会場を包み込みました。(この模様は9月1日にテレビ放映される予定です)